

マーケットの動き（2024年5月27日～5月31日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。
米国実質GDP（国内総生産）が速報値から下方修正されたことなどを受け、日米金利差が縮小するとの観測から円買い・米ドル売りが優勢となる場面もありましたが、月末で米ドル需要が高まったこともあり、円売り・米ドル買いが優勢となりました。
ユーロは前週末比、対円・対米ドルともに上昇しました。

投資環境見通し（2024年5月）

円に対して米ドルは小じっかり、ユーロはレンジ内での動き

米ドル：米国ではインフレ鈍化が緩慢となり、早期の利下げ観測が後退する中、ドルの円に対する上昇圧力は残るとみられます。ただし、ドルが一段と上昇する場面では、日本政府・日銀による円買い介入も意識され、変動率が高まる可能性があります。

ユーロ：ECB（欧州中央銀行）が6月に利下げを行った後の追加利下げに対する見方が分かれ、日銀による年内の追加利上げは1回との見方が広がっていますが、当面は金利差に大きな変化はなく、ユーロは円に対して概ねレンジ内で推移するとみています。

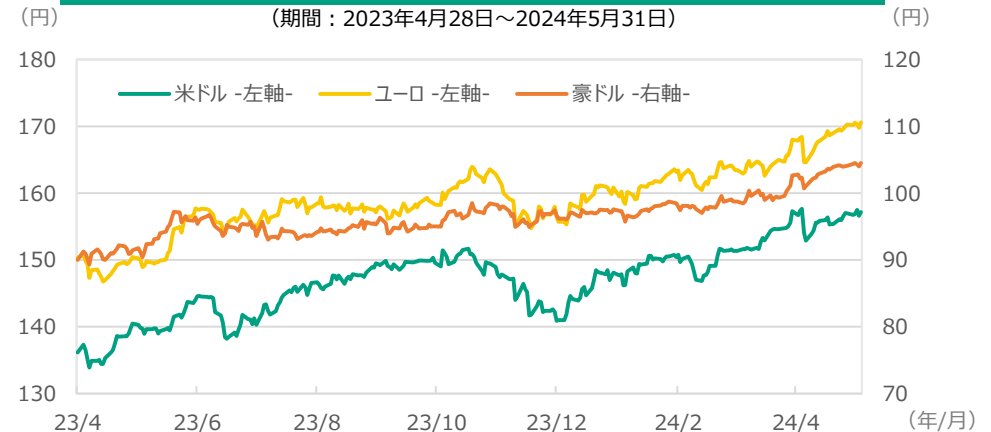
	5月31日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	157.15	0.17	▲0.22	9.31	17.43
ユーロ/円	170.60	0.34	2.33	9.29	21.65

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202405_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>